

大飯発電所3号機および4号機

格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象に関する調査報告書

平成17年4月

関西電力株式会社

1. 目的

平成16年6月25日付「格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象に関する報告徴収について」(平成 16・06・24 原第7号)の指示に基づき、大飯発電所3号機および4号機について調査を実施した。

本報告は、その結果について報告するものである。

なお、他の号機については、調査完了次第、順次報告する。

2. 調査結果に関する報告

(1)調査項目

格納容器再循環サンプスクリーン機能の有効性評価に必要な格納容器内保温材、格納容器再循環サンプなどのデータの詳細として以下の項目について調査した。

①格納容器再循環サンプ、安全系機器の仕様

- ・ 格納容器再循環サンプにサクシオンをとる安全系の名称、容量、スクリーン形状、個数、表面積

②原子炉冷却材喪失事故時等にスクリーン閉塞の原因となり得る異物源の情報

- ・ 格納容器内の保温材の種類、使用量
- ・ 格納容器内のエアフィルタの使用箇所と材質、使用量

(2)調査方法

①格納容器再循環サンプ、安全系機器の仕様

設計図書の調査を行った。

②原子炉冷却材喪失事故時等にスクリーン閉塞の原因となり得る異物源の情報

保温材の種類、使用量については、大飯発電所3号機および4号機の保温材の施工図面により保温材の種類、使用量を調査するとともに、図面上確認できないデータおよび図面と現状のプラント状態が相違ないことを確認するため、現場調査を行った。

エアフィルタの使用箇所と材質、使用量については、設計図書の調査を行うとともに、使用箇所については、現場調査で確認した。

(3)現場調査実施時期

大飯発電所3号機 : 第10回定期検査中(H16. 4～H17. 1)に調査実施

大飯発電所4号機 : 第 9回定期検査中(H16. 9～H16. 10)に調査実施

(4)大飯発電所3号機および4号機の調査結果

大飯発電所3号機および4号機の調査結果を次表にまとめた。

項目	調査結果
①格納容器再循環サンプ、安全系機器の仕様	
・ 格納容器再循環サンプにサクシオンをとる安全系の名称、容量、スクリーン形状、個数、表面積	添付1参照
②原子炉冷却材喪失事故時等にスクリーン閉塞の原因となり得る異物源の情報	
・ 格納容器内の保温材の種類、使用量	添付2参照
・ 格納容器内のエアフィルタの使用箇所と材質、使用量	添付3参照

(5) 考察

大飯発電所3号機および4号機の調査の結果、保温材として繊維質のものを多く使用していることが明らかになった。一般に金属保温材と比較して繊維質保温材は異物となった場合に格納容器再循環サンプスクリーン閉塞評価結果が厳しくなると言われている。このため、現時点では格納容器再循環サンプスクリーン閉塞評価手法が確立されておらず、必ずしも閉塞の可能性が予見されるものではないが、同様の状況にある米国 PWR 事業者の例に鑑み、念のため別添の暫定対策を立案し、実施しているところである。

また、まだ調査を実施していないプラントを含めた当社の全プラントについても、念のため、同様の暫定対策を立案し、実施しているところである。

以 上

(添付資料)

添付1:格納容器再循環サンプ、安全系機器の仕様

添付2:格納容器内の保温材の種類、使用量

添付3:格納容器内のエアフィルタの使用箇所と材質、使用量

別 添:格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象に関する暫定対策の実施状況について

格納容器再循環サンプ、安全系機器の仕様

プラント名	再循環サンプ数	再循環サンプからの吸込口数	系統名称	数(ポンプ台数)	容量(m ³ /h)	スクリーン表面積(m ²)	スクリーン形状
大飯3号機	2	1×2	格納容器スプレイ系*	2	約1200	約16.1×2	メッシュ:約3mm×3mm
			高圧注入系*	2	約320		
			低圧注入系*	2	約1020		
大飯4号機	2	1×2	格納容器スプレイ系*	2	約1200	約16.1×2	メッシュ:約3mm×3mm
			高圧注入系*	2	約320		
			低圧注入系*	2	約1020		

* :1つの再循環サンプ吸込口から、格納容器スプレイ系、高圧注入系、低圧注入系のそれぞれ1系統に分岐

格納容器内の保温材の種類、使用量

大飯3号機

単位: m³

		主配管	1次系枝管	その他配管	補機	原子炉容器	蒸気発生器	1次冷却材ポンプ	加圧器	加圧器逃し弁	主蒸気管主給水管	合計値	割合(%)
一般保温	ケイ酸カルシウム		8.2	23.5							36.1	67.8m ³	23.2%
	繊維質	2.2	0.6	2.7	2.2		65.3	6.8	13.0			92.8m ³	31.7%
	ウレタン			24.8								24.8m ³	8.5%
カプセル保温	金属保温					21.0						21.0m ³	7.2%
	繊維質	19.2	3.5	15.4	0.9		31.1		3.9	2.1	10.0	86.1m ³	29.4%
合計値		21.5m ³	12.3m ³	66.4m ³	3.0m ³	21.0m ³	96.4m ³	6.8m ³	16.9m ³	2.1m ³	46.1m ³	292.5m ³	—

※: 小数点第二位以下四捨五入(四捨五入の関係で個々の値を足した値と合計値が合わない場合もある。)

大飯4号機

単位: m³

		主配管	1次系枝管	その他配管	補機	原子炉容器	蒸気発生器	1次冷却材ポンプ	加圧器	加圧器逃し弁	主蒸気管主給水管	合計値	割合(%)
一般保温	ケイ酸カルシウム		8.2	23.6							35.2	67.0m ³	22.9%
	繊維質	2.2	0.6	2.7	2.2		65.3	6.8	13.0			92.8m ³	31.7%
	ウレタン			24.8								24.8m ³	8.5%
カプセル保温	金属保温					21.0						21.0m ³	7.2%
	繊維質	19.2	3.5	15.4	0.9		31.1		3.9	2.1	11.0	87.1m ³	29.8%
合計値		21.5m ³	12.3m ³	66.4m ³	3.0m ³	21.0m ³	96.4m ³	6.8m ³	16.9m ³	2.1m ³	46.2m ³	292.6m ³	—

※: 小数点第二位以下四捨五入(四捨五入の関係で個々の値を足した値と合計値が合わない場合もある。)

(注釈)

- ・主配管は一次冷却材管を示す。
- ・1次系枝管は1次冷却材系統配管のうち、1次冷却材管以外の全ての配管を示す。
- ・その他配管は、主配管、1次系枝管、主蒸気・主給水管を除く配管を示す(SIS,RHRS,CCWS等)。
- ・繊維質は、ロックウール、グラスウール、ガラステープを示す。

格納容器内のエアフィルタの使用箇所と材質、使用量

大飯3号機および4号機

機器名称 ^(注)	設置位置	フィルタ名称	材質	使用量
格納容器再循環ユニット(×4)	EL38.7m(各ループ室外)	粗フィルタ	グラスファイバ	64枚 ^{※1} ×4台
制御棒駆動装置冷却ユニット(×1)	EL38.7m(加圧器外)	粗フィルタ	グラスファイバ	30枚 ^{※1}
格納容器空気浄化フィルタユニット(×1)	EL38.7m(A-SG外)	粗フィルタ	グラスファイバ	5枚 ^{※1}
		微粒子フィルタ	グラスファイバ	6枚 ^{※2}
		よう素フィルタ	活性炭	27枚 ^{※3}

(注) 高エネルギー配管の近くに設置されており、原子炉冷却材喪失事故時等にスクリーン閉塞の原因となり得るエアフィルタを抽出した

※1 サイズ: 590×590×292[mm] (約0.10m³)

※2 サイズ: 610×610×292[mm] (約0.11m³)

※3 サイズ: 731×618×160[mm] (約0.07m³)

格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象に関する暫定対策の実施状況について

1. 対象プラント

当社の全てのプラントを対象とする。

- ・ 美浜発電所 1号機、2号機および3号機
- ・ 高浜発電所 1号機、2号機、3号機および4号機
- ・ 大飯発電所 1号機、2号機、3号機および4号機

2. 暫定対策実施内容

実施項目	実施内容	実施時期	備考
格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象発生時に対応するための運転マニュアルの改訂	現状のマニュアルには、原子炉冷却材喪失事故または主蒸気管破断事故発生後、格納容器再循環モードに移行した際に、格納容器再循環サンプスクリーンが閉塞した場合の対応操作が規定されていない。このため、格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候検知方法および対応操作のためのマニュアルを整備した。	平成17年2月 実施済	添付 参照
前項の運転マニュアルに基づく、教育・訓練の実施	運転員に対して、前項で作成した運転マニュアルの内容を確実に理解させる必要があるため、教育・訓練を実施し、内容の浸透を図る。	平成17年3月 実施済	
格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象に関連する海外BWRでの同種事例周知教育	運転員およびトラブル対応要員を対象に海外BWRでの同種事例周知教育を実施し、格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象に関する理解浸透を図った。	平成17年2月 実施済	
格納容器内異物管理の厳正化	定期検査ごとに、その終了までに格納容器内の点検を行い、格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の原因となり得る格納容器内の異物を除去する、あるいは仮置機材等で閉塞の原因となり得るものについては、固縛等の適切な措置を行う。	平成17年2月に格納容器内異物管理に係る社内標準を策定済 今後、定期検査終了に伴い起動するプラントから順次実施する	

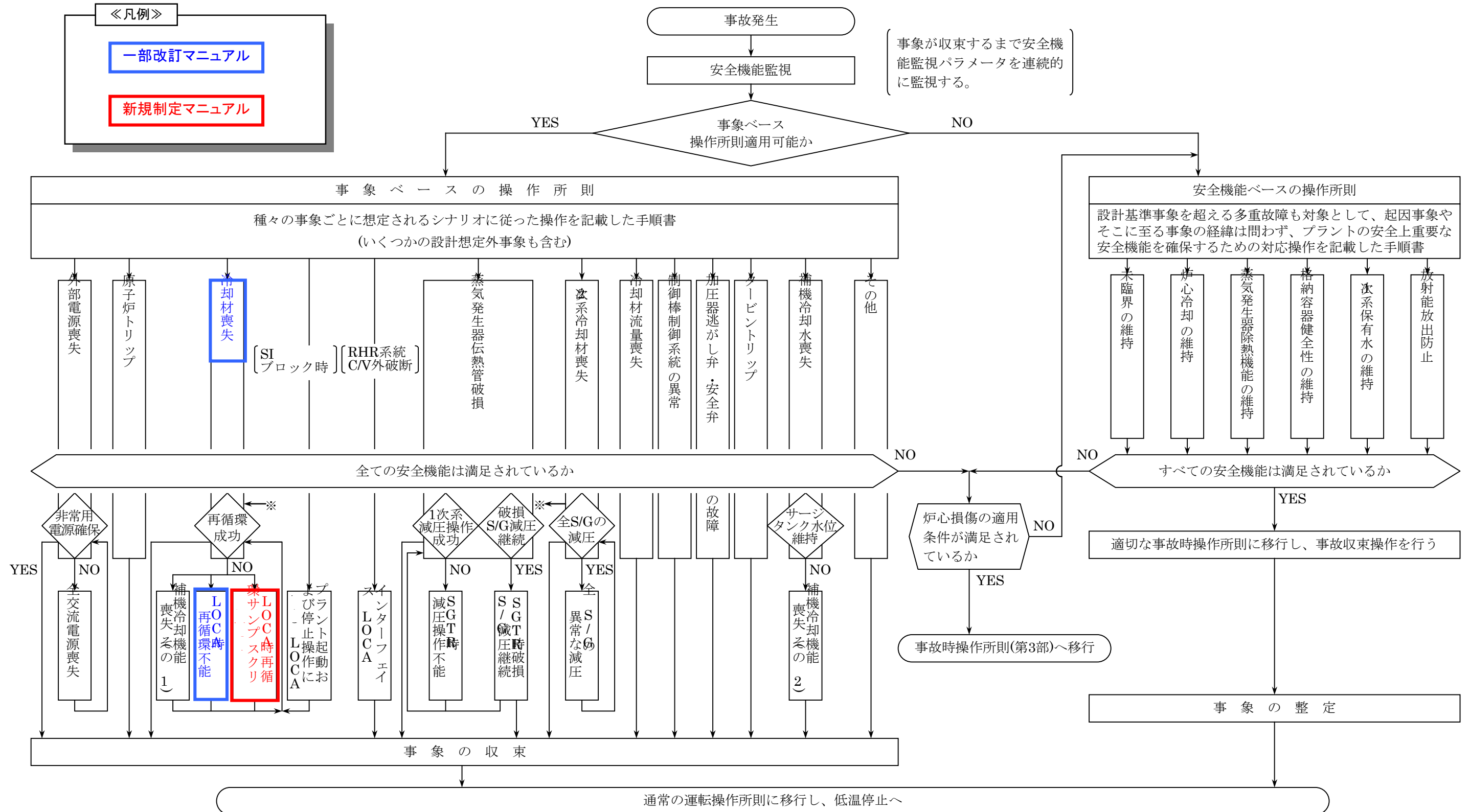
実施項目	実施内容	実施時期	備考
運転シミュレータを用いた格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象発生時の対応操作訓練の実施	運転員を対象に、新たに作成した格納容器再循環サンプスクリーン閉塞事象対応マニュアルに基づく対応操作について、運転シミュレータを用いた定期的な訓練を行い、より確実な対応操作が行えるようにする。	現在、実施中 今後、1回／年度の頻度で実施する	

(添付資料)

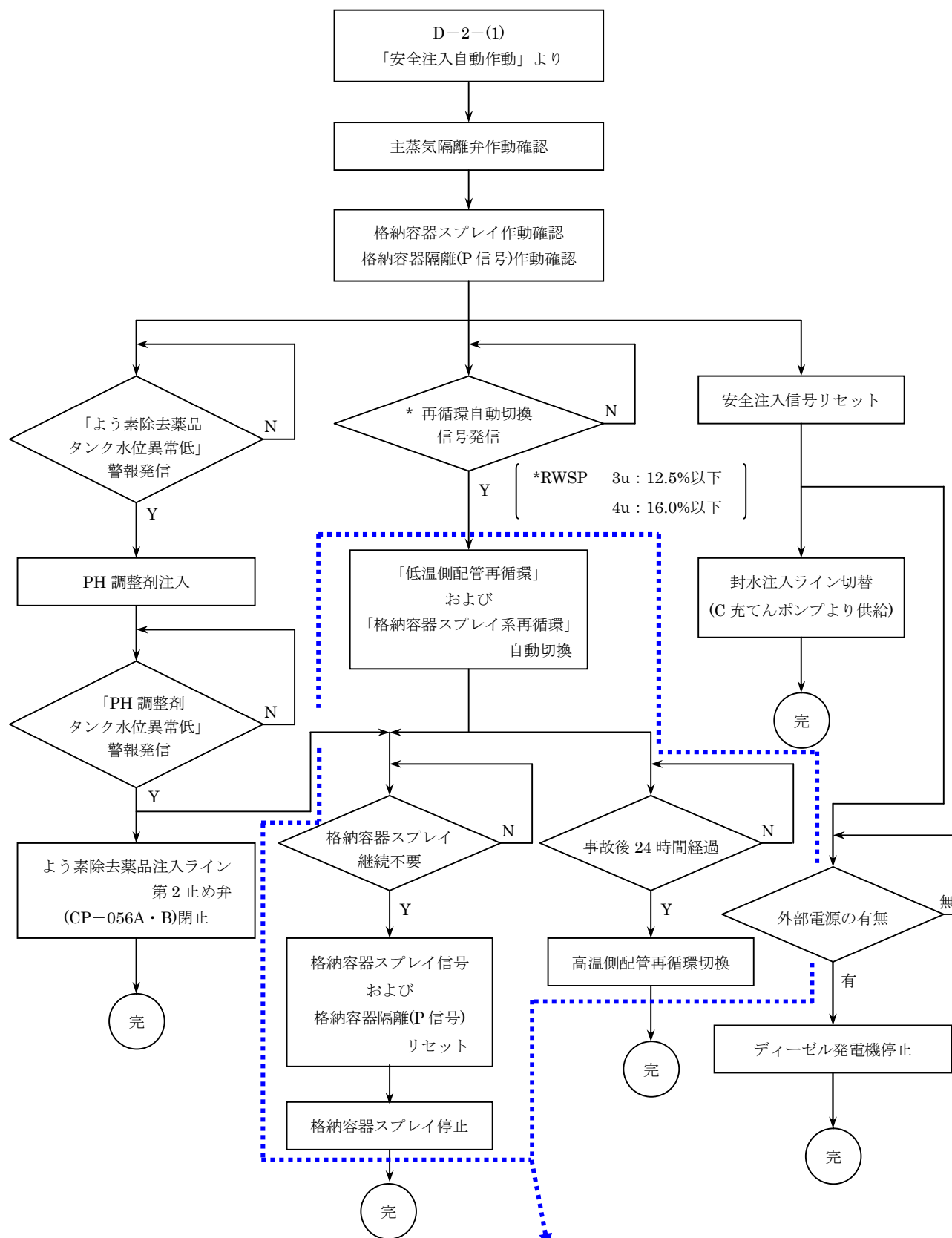
添 付:運転マニュアルの改訂内容(大飯3号機および4号機の例)

運転マニュアルの改訂内容（大飯3号機および4号機の例）

Ⅲ. 事故時操作所則全体構成

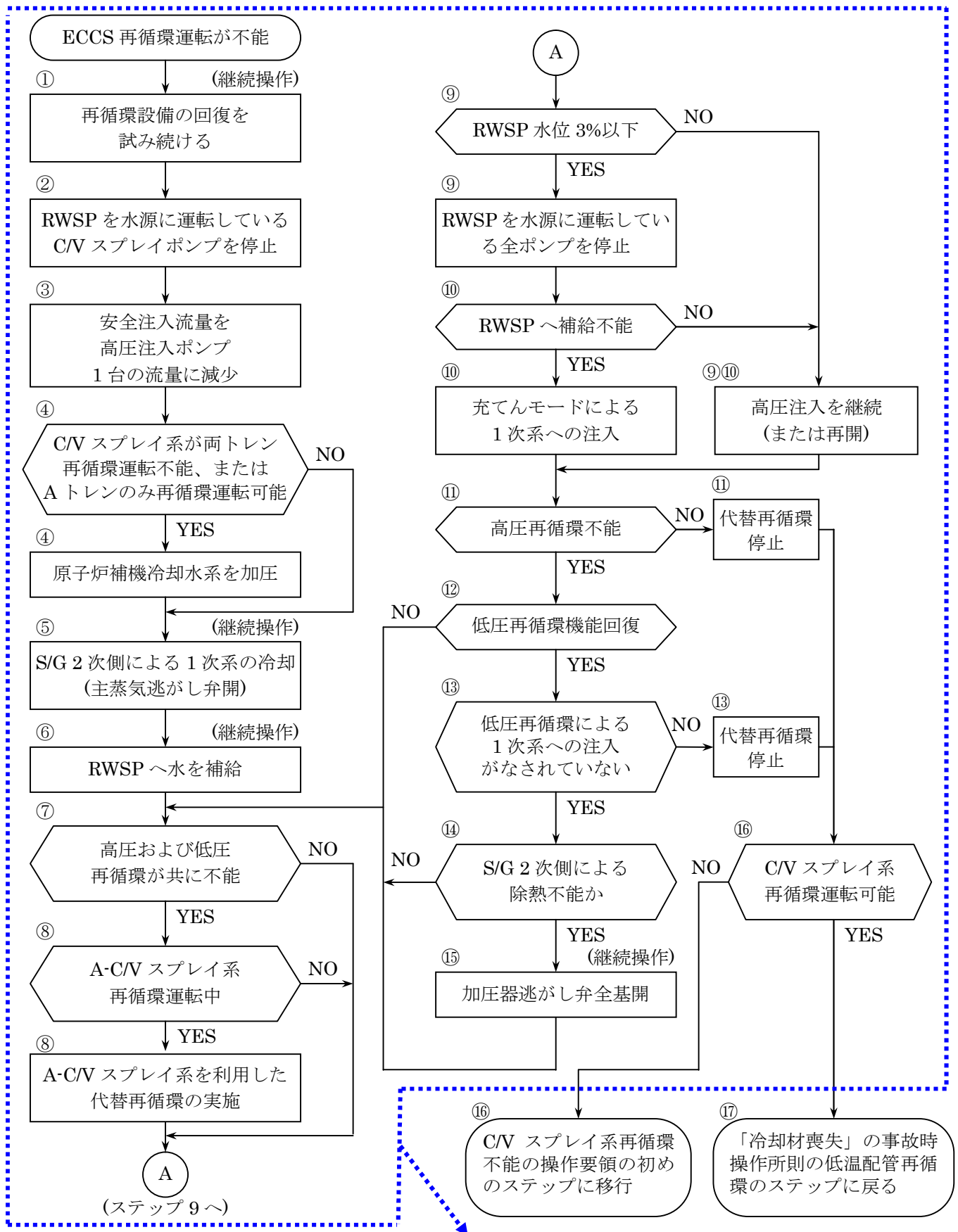


D-2-(1)-a 冷却材喪失(大破断)



≪追記≫再循環切替以降、再循環サンプ閉塞兆候が認められれば「LOCA時再循環サンプ
スクリーン閉塞」マニュアルへ移行する。

主要操作流れ図 (ECCS再循環不能)



《追記》再循環切替以降、再循環サンプ閉塞兆候が認められれば「LOCA時再循環サンプスクリーン閉塞」マニュアルへ移行する。

新規制定マニュアル

主要操作流れ図（LOCA時再循環サンプスクリーン閉塞）

